三開催報告



JX日鉱日石エネルギー(株) 取締役副社長執行役員

内田幸雄氏

昭和26年生まれ、福井県出 身。昭和48年京都大学法 学部卒業後、日本鉱業㈱入社。 ㈱日鉱共石 企画本部参事 ㈱ジャパンエナジー 専務 取締役などを経て、平成 24年6月、JX日鉱日石工 ネルギー㈱ 取締役副社長 執行役員となる

8月24日に福井県環境・エネルギー懇話会と共 催による「エネルギー特別講座」を開催。当日は「ど うなる! これからのエネルギー ~現在のエネルギ 一情勢と日本の戦略~ | と題し、JX日鉱日石エネ ルギー株式会社 副社長執行役員 内田幸雄氏にお 越しいただき、ご講演いただきました。内田氏は福 井県出身で学生の頃を敦賀で過ごされたそうです。

内田氏は日本のエネルギー政策の困難性や自給 率がもたらす課題を説明。

これまでの日本のエネルギー政策は、石炭から 石油、オイルショックで脱石油、環境問題・自給率向 上から原子力推進政策へ移行されてきました。

エネルギー政策は、どの国にとっても重要な問題 であり、我が国のエネルギー政策での最大の課題 はエネルギー自給率が圧倒的に低い(原子力を除 き4%) ことです。エネルギー戦略に必要な視点は ①安定的な供給、②効率的で質の高い供給、③環境



「エネルギーポートフォリオ」(特定のエネ ルギーに依存しない)を考えることが肝心で あり、それぞれのエネルギー特性を活かして エネルギーミックスを選択すべきです。

内田氏は最後に、石油業界の視点から新たなエネルギ 政策の実現に貢献するとして、講演会を締めくくりました。



廃炉ビジネスについて

安全面 3 後いかにビジネスに反映 研究開発 平 ました。福井県は地域と原 て説明を行った後、意見交換し 廃止措置研究会の概要につい 動について質問されました。エ わりや港の利活用など経済活 んでいま た研究という面からの推進と 元の人が生活し 成17 を訪れまし 名の視 0 む 9 ました。 ました。原子力は技術を使っ 月6 中で、 からの規制の両方で進 年3月に「エネルギー 日に 産業起業化研究会や 拠点化計画」を策定 察団が敦賀 地 地 元企 御 た。 前 の特性 廃止 業とのかか 育工会議 市長ほ 措置

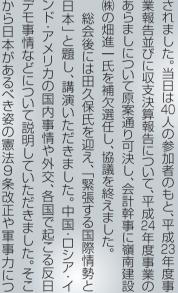
•••••••







早稲田大学法学部卒業後、 時事通信社入社。編集局 次長兼解説委員などを 経て、現在、杏林大学名 誉教授。著書に「戦略家 ニクソン」、「国家への目 醒め」(櫻井よしこ氏と の対談)ほか。









まごころとおいしさで親しまれて70有余年

本社/〒914-0062 敦賀市相生町2-7

中央店 金山店 本店 **2**22-1468 **2**23-4680 **2**23-3468

> 岡山店 駅前店 **☎**22-2468 **☎**22-4640





日本にあたらしい広さを。"N BOX"



Honda Cars 敦賀 吳竹店

お車の車検・点検・自動車保険、なんでもご相談ください。

有中村商会 TEL0770-22-2386代 **南**中村商会 教育市吳竹町1-17-8 FAX25-8166